

出席者：坂田貞二、臼田雅之、深尾淳一、水野善文

1. Pollock 編著の書評：

International Journal of South Asian Studies, debates 欄投稿まで手順

1) 12月中に全体取り纏め

- ・タミル、グジャラーティー、ヒンディー 2、ウルドゥー 2 の提出
- ・総括部分の執筆：序文相当箇所は水野原案を本日チェック、一部付加
「まとめ」の部分も水野が草稿を記し→委員内回覧修正へ

2) 1月初旬、水野が編集作業、エディタージに校正依頼(1/8までには)→各人に確認(1週間、1/20日までに)→1月末、南アジア学会ジャーナル編集委員会へ提出。

2. 『南アジア言語文化』(東外大南アジア地域研究室ジャーナル) 第6号の発刊へ

- ・遅くとも1月中旬までには原稿を頂きたい。→1月末にはページ数見積もりへ。

3. 本格的な文学史執筆にむけて

1) 今日集まった4人

坂田：ラーマ物語、臼田：12ヶ月詩、深尾：映画、水野：語り
がそれぞれのテーマに基づき、執筆趣意書を1月10日までに執筆
→水野が取り纏め→委員内で回覧
→メンバー全員に配信

<趣意書には全体の構想のみならず、他の時代、地域、言語をカバーする
メンバーの想定をふくむ>

2) メンバーはそれに基づき、それぞれのテーマへアプローチしていただく。

<当座は意思表示だけでも。可能ならすぐにも情報提供もしくは執筆分担>

3) 5月19日(土)の研究会で執筆態勢の確定

<さらなるテーマ設定の可能性模索も>